田中草研究室 (ランドスケープ・エコシステムズ研究室)



自然環境の復元・創造に関るフィールドから

政策まで幅広く研究をしています

フィールド

- ●コケ植物による都市緑化の現状と課題―東京都市大学横浜キ ャンパス中庭ビオトープパッケージを用いて一
- ●人工池での藻類発生抑制に関する研究ー東京都市大学横浜キ ャンパス中庭ビオトープ・パッケージをケーススタディとし **7**-
- ●香りを感じる都市緑化とハーブの植物材料を利用した製品の 研究開発―キャンパス階段地における「香りの芝生」をケー ススタディとして一
- ●ビオトープ・パッケージの効果と今後の課題 東京都市大学 横浜キャンパスをケーススタディとして・
- ●ハーブの踏圧に対する耐性の研究
- ●香りと花で楽しむ壁面緑化の提案―バラ属植物を用いた垂直 緑化の実験を通して一

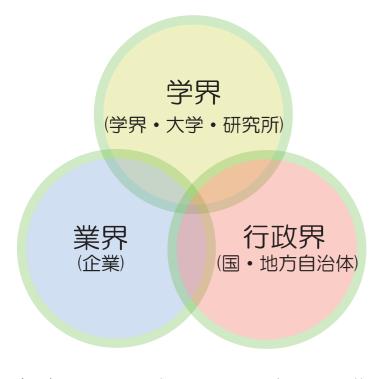
政策

- ●里山保全のための経済的手法「里山バンク」に関する研究
- ●In-lieu-feeプログラムの現状と日本適用の可能性
- ●日本の生物多様性オフセット関連施策の現状と課題―BBOP の生物多様性オフセットに着目して一
- ●都市型里山バンクの提案―二子玉川開発事業区域内をケース スタディとして一
- ●国際社会における生物多様性オフセットおよび生物多様性バ ンキング政策の現状に関する研究
- ●生物多様性オフセットとしての湿地造成の可能性 ラムサー ル条約登録湿地に着目して -
- ●オセアニアにおける生物多様性オフセットに関する研究

評価手法

- ●環境アセスメントにおける複数案評価の研究─生物多様性 分野のHEP適用を例にとって一
- ●「HEPのHSIモデルを用いた簡易的生物多様性評価ツール 「HSIカルテ」の作成」
- ●GISを用いたHEPの解析手法の開発 横浜市上郷開発事業 をケーススタディとして
- ●都市域の企業緑地を対象とした生物多様性評価手法の動向
- ●ダム撤去を対象としたHEPによる評価手法の研究
- ●HEPを応用した屋上緑化の評価手法の開発 生物多様性保 全に着目して -

実社会との連携



本研究室では、学界・行政界・業界との連 携を重視し、「研究のための研究」ではな く「実社会で役立つ研究」を目指します。







私は田中研究室に入って から、中庭ビオトープ・ パッケージを主な研究の

致するためにどういった植物が有効かを調べ てきました。田中研究室では、動植物が大好 きな人、自然や景観に興味のある人を大歓迎 しているので、ぜひ気軽に研究室の方へ遊び に来てください。

4年 宮武蘭



私は田中研究室に入って 持続可能な社会の実現に

生態学の知識も要求される分野であり、興味 深く研究しています。4年時には里山バンク をテーマにして取り組んでいます。田中研究 室はみんなの仲も良く笑いの絶えない研究室 なので一度足を運んでみてください。

4年 猿渡 航太

田中研究室の受賞

- ■日本造園学会賞(1999)
- ■エコプロダクツ大賞(2009)
- ■第3回東急環境省努力賞(2011)
- ■神奈川ビジネスオーディションJEA賞(2012)







主な就職先

環境系

- JICA青年海外協力隊
- 建設技研究所(株)
- アジア航測(株)
- オオバ(株)
- 大日本(株)コンサルタント (株)
- 小泉(株)
- 日本ミクニア(株)

ランドスケープ系

■ 日本設計(株)

- 公務員
- 石勝エクステリア(株) 郵便事業
- 杉考(株)
- JAL ウェイズ(株)

その他

- グラック(株)
- イオン(株)
- 伍福園(株)

■ 積和建設神奈川(株)

- 日立ハイシステム 21
- 岡村製作所(株)



田中 章教授

略歴

東京都市大学環境情報学部教授 農学博士 Master of landscape Architecture

学歴

東京農工大学農学部環境保護学科 ミシガン大学大学院環境計画修士課程修了 東京大学大学院農学農学生命科学研究科緑地学博士課程修了

職歴

パシフィック・コンサルタンツ・インターナショナル 野村総合研究所 海外環境協力センター 東京都市大学環境情報学部教授(現職)

主な著書

「HEP 入門(新装版)-〈ハビタット評価手続き〉マニュアル-」(単著) 「野生生物保全技術 第2版」(共著)

章(ランドスケープ・エコシステムズ)研究室 東京都市大学横浜キャンパス環境情報学部